

別表1

## 定 義 等 一 覧 表

番号	用語	定義	要件・効果等	注記
1	ボート競技（以下、「ボート」という。）	オールを艇子の原理（第2種：力点－作用点－支点の並び）で使い、艇の進行方向に背を向けて座り、一人もしくはより多くの漕手の筋力で、水上に浮かぶ艇を推進させるスポーツ。艇の舵を操作する舵手（以下、「コックス（Cox）」ともいう。）が乗艇する場合と乗艇しない場合がある。艇の中では、可動部分の軸を含む全ての耐荷部位は、艇本体にしっかり固定されていなければならない。ただし、シートは艇の軸に沿って動くものとする。ボートの動作を再現する、器械の上でまたはローイング・タンクにおけるボートもまた、ボートの一形態と考えられる。		国際的に用いられているボートを漕いで競うスポーツを意味する「Rowing」の日本語表記については、「ローイング」を用いる。 Coxは、Coxswainの短縮語で、通常用いられるもの。
2	主催・主管	主催とは、自らの名前と責任において、大会の運営をとり行うことをいい、主管とは主催者に協力して大会の運営をとり行うことをいう。		
3	ボート競技者	漕手と舵手（Cox）のこと（以下、「競技者（アスリート）」または「出漕者」ともいう。）	次の各事項に定める資格をすべて有し、大会に参加する者を競技者（アスリート Athlete）という。 (1) 当協会に加盟する各都道府県ボート協会（加盟協会）に登録された所属団体に在籍する者であること。 (2) 加盟協会経由で、当協会に選手として登録された者であること。	
4	クルー（Crew）	同一の艇に乗艇しているすべての競技者（漕手と舵手）のこと。		艇の総体を指すこともある。
5	ジュニア（Junior）	満18歳になる年の12月31日までの競技者のこと。		
6	マスターズ（Masters）	27歳以上の競技者（漕手のみ）を、数年の年齢区分ごとにアスリートを分けて競技を行う方式		一般にマスターズ・ローイング大会では、勝敗よりもローイングそのものを楽しむこと、あるいはマスターズ大会に参加することを重視する傾向が強く、これらは適切に評価されなければならない。
7	競漕・競漕会	競漕とは、ボートのレース（Race）のこと（以下、「レース」ともいう。）。競漕会とはボートのレースがおこな	レースは、順位を決定するために行われる、スタート（発艇）からフィニッシュ（漕了）までの一連のプロセス（過程）	

		われるスポーツ大会（以下、「大会」という。）であり、「レガッタ (Regatta)」とも称する。	のことで、大会は同一または複数の種目・ラウンドのレースから構成され、最終的に順位を決定するものをいう。	
8	パラローイング (Para Rowing)	身体の一部に障がいがある競技者および知的障がいのある競技者のボート競技		
9	コース (Course)	大会で使用される、水上・水中設備を含めた水域全体とその周辺の陸上施設の総称		大会開催中、コースの水上部分は、競漕レーン、回漕レーン、ウォーミングアップエリアおよびクールダウンエリアで構成される。
10	レーン (Lane)	各競漕艇（レースに参加する艇）が進行する個々の水路	大会においては、次の3種に区分される。 1 競漕レーン 競漕レーンはレースで使用し、競漕レーンと競漕レーンの境界は、一定間隔で直線上に設置されたブイの列で規定される。 2 回漕レーン スタートに向かう艇（回漕艇）が航行するレーンである。 ③緩衝（かんしょう）レーン お互いに反対の方向に進む艇同士が接触・衝突しないように、競漕レーンと回漕レーンの間に設ける、艇が航行しないレーンである。	
11	ラウンド (Round)	大会で同一種目における競漕のステージをラウンドと呼ぶ。ラウンドには、競漕ステージの低い方から、プレリミナリー (Preliminary) 予備レース（出艇数が少なく、レーンを決めるために行われるもの）、予選、敗者復活、準々決勝、準決勝および決勝がある。	あるラウンドを省略しても、その上のラウンドに進めるクルーを合理的に決めることができる場合は、そのラウンドは行わない。各クルーにとって、一つのラウンドは前のラウンドのレース終了から次のラウンドのレース終了までとなる。一つのラウンドが日をまたぐことも可能である。	
12	メンバー (Member) 交代	クルーを構成する同一団体のメンバーの中で1人以上が、出漕申込時のメンバーでない別のメンバーと入れ替わること。		
13	シート (Seat) 変更	クルーを構成するメンバーが、艇内で座る位置（シート）を入れ替えること。		
14	デッドウェイト (Dead Weight)	規定体重に満たない舵手が、その不足を補うために艇内に持ち込む付加重量		
15	BUW (Boat Underweight 艇重量不足)	レースに使用する艇が、規定の艇の最小重量に満たないこと。	規定の最小重量を満たさなかった艇のクルーは、そのレースの最下位（複数の規定未満のクルーがある場合は、不足重量の少ないものが上位）とする。	
16	艇の予備計量	レースの前に出漕予定の艇のクルーが、その判断と責任で艇計量を試行すること。		

17	事前計量	大会側が用意した計量器で、舵手および軽量級漕手が任意に、自身の判断と責任で体重計測を試行することで、計量回数に制限はない。		
18	予備計量	舵手および軽量級漕手が、正規の計量（公式計量）の前に、公式に用意された計量器で計量することで、その計量回数は原則として1回とされる。		
19	棄権・放棄	大会に出漕申込（エントリー Entry）したクルーが、当該大会の最後のラウンドのレースを漕ぎ終わるまでのいずれかの時点で出漕を取りやめること。その際、所定の時間までに所属団体責任者の署名のある棄権届の提出による場合を棄権と呼び、棄権届もしくは何らの事前連絡なしで出漕しなかった場合を放棄と呼ぶ。		
20	ユニフォーム (Uniform)	レース中に競技者が身に着けるユニフォーム以外のもので、競技者個人の思想・信条、信教、趣向、体調、健康保持と深い関連があるもの。		ユニフォームには、例えば帽子、アンダーシャツ、アンダーレギンス、靴下などは含まれない。
21	パーソナル アイテム (Personal Item)	レース中に競技者が身に着けるユニフォーム以外のもので、競技者個人の思想・信条、信教、趣向、体調、健康保持と深い関連があるもの。		例：眼鏡・サングラス、ネックレスなどのアクセサリ類、腕時計、指輪、手袋、サポーター、リストバンド、ヒジャブ、包帯など。
22	ボンツーン (Pontoon)	水上に設けられた、艇への乗り降りその他のための船台、（浮）桟橋などの構造物のこと。	大会で用いられるボンツーンには、出入艇ボンツーン、スタートボンツーン、修理ボンツーン、給水ボンツーン、ヴィクトリーボンツーンなどがある。	パラローイングにおいては、PR11 Xの浮きの部分も指す。
23	トラフィック ルール (Traffic Rule)	コース水上での競技艇の航行に関するルール（航行規則）で、トレーニング用トラフィックルール、レース用トラフィックルールおよびヴィクトリー・セレモニー用トラフィックルールからなる。		艇（審判艇、救助艇、テレビ艇、作業艇等）は、トラフィックルールの対象外で、ステイクボートは発艇設備で、一般に曳航されるため、航行の対象外となる。
24	スタートエリア	（広義）スタート線を中心とした水上と陸上の領域、及びそこに設置されている施設備品の総称。 （狭義）競漕レーンの最初100m（0mから100mの間）。		
25	フィニッシュ エリア	フィニッシュラインを越えた先の100m以内の水域のこと。	フィニッシュラインに到達して漕了となったクルーも、主審が白旗を掲げるまではフィ	

			ニュッシュエリアに留まっていなければならない。	
26	発艇塔 (スタートタワー)	発艇員が位置し、発艇号令を行う審判の配置部署。なお、発艇塔(スタートタワー)が塔に至らない場合、発艇台や発艇用の審判艇がその機能を担う。		
27	呼込み(割当て)	発艇員(スターター)が、レースに参加する艇に適切なレーンの割当てを指示し、そのレーンへの進入を許可すること。		
28	分読み	発艇員(スターター)が、スタート時刻5分前から2分前まで、1分刻みで残り時間をクルーに通告すること。	「Five minutes」、 「Four minutes」、 「Three minutes」、 「Two minutes」を用いる。	「One minute」という分読みはない。
29	ロールコール (Roll Call)	発艇員(スターター)が、スタートの準備が整ったことを確認した後、スタート号令を掛ける前に、レーン順にクルー名を点呼すること。		クルー名が長い場合は、その同一性を崩さない程度に省略してよい。 (例:〇〇大学経済学部 ⇒ 〇〇大経済)
30	スタート号令	発艇員(スターター)が発する、スタートの合図となる号令(発艇号令)	「アテンション(Attention)」(赤旗挙上/赤ランプ点灯)と「ゴー(Go)」(赤旗振りおろし/赤⇒緑ランプ点灯)。「アテンション」と「ゴー」の間には明瞭な“間”が必要で、この“間”はレースごとに変わるものとする。	バラローイングPR3種目では、視覚障がい者が同乗していることから、ロールコールの後、「アテンション(Attention)」の予令を発し、明瞭な間をおいて赤旗を掲げ、「レッドフラッグ(Red Flag)」の予令を発し、さらに明瞭な間をおいて「ゴー(Go)」のスタート号令を発すると同時に赤旗を振り下ろす。
31	クイックスタート (Quick Start)	気象条件やその他の正当な理由により、通常のスタート手順を短縮する必要がある場合に用いられるスタート手順	発艇員(スターター)は「Two minutes」を発声した後、クイックスタートを使用することをクルーに通知する。ロールコールを省略して「Quick Start」と発声し、その後スタート号令を発する。	
32	フォルススタート (False Start)	不正なスタートのこと。	罰則としてイエローカードが科される。	
33	漕跡(そうせき)	レース中の各艇の漕行経路		各艇は与えられたレーン内を漕行する権利を有するとともに、これを守ることを義務づけられている
34	接触	レース中に、2艇またはそれ以上のオール、艇が物理的に触れ合うこと。		
35	妨害	レース中、自己の使用レーン		この場合、オー

		以外のレーンに侵入し、そのレーンの専用権を持つ艇の漕行を妨げること。		ル・艇同士の直接的接触の有無は問わない。
36	審判艇・主審艇	主審業務を行う審判が乗艇する船を審判艇という。複数の審判艇の中で、当該レースの主審を行う艇を主審艇という。		
37	ゾーン (Zone) 審判法	各レースができるだけ静水の状態で行えるよう、前のレースの主審艇の波の影響を極力残さないため、ゾーン単位に複数の審判艇を配置し、各ゾーンのコースの中央にて静止した主審艇によって行う審判法。追航は必要があった場合にのみ実施される。		通常、2,000 m レースでは発艇塔 (スタートタワー) にいる審判員を含めて7か所に主審を配置する。
38	レースの漕了 (Finish)	スタートした各クルーがレースの全距離を漕行し、その艇首 (パウボール [Bow Ball] の先端) がフィニッシュラインに到達したとき、そのクルーはレースを漕了したものとする。		
39	DNS (Did Not Start 未発艇)	あるクルーが決められた発艇 (スタート) 時刻までに到着しなかったために、レースにまったく参加できなかった場合、あるいは発艇 (スタート) 号令にもかかわらずスタートせずにレースに参加しなかった場合。これらの場合に、当該クルーの着順はDNSと記録される。	これらの場合に、当該クルーの着順はDNSと記録される。決勝もしくは順位決定以外のレースでDNSとなると、レッドカード (除外) と同等の扱いとなる。決勝もしくは順位決定レースでのDNSは、当該レースの最下位となる。	
40	DNF (Did Not Finish 未漕了)	スタートしたクルーが、何らかの理由により途中で漕ぎやめ、フィニッシュラインに到達しなかった場合、当該クルーの着順はDNFと記録される。	決勝もしくは順位決定以外のレースでDNFとなると、レッドカード (除外) と同等の扱いとなる。決勝もしくは順位決定レースでのDNFは当該レースの最下位となる。	
41	レースの成立	レースに参加した全艇 (DNFの艇を除く。) がフィニッシュラインに到達した後、主審が白旗を掲げて、当該レースが正常に行われたとの判断を表明した後、着順確定手続を終えたときに、レースの成立とする。		
42	レースの保留	レースに参加した全艇 (DNFの艇を除く。) がフィニッシュラインに到達した後、主審が赤旗を掲げて、レース中に問題がありその着順がフィニッシュライン到達順にならない可能性があることを表明した場合、そのレースは保留となる。	レースが保留されると、判定員は着順判定作業を行わず、主審のその後の対応と連絡を待つ。	
43	同着 (Dead-heats)	2ないしそれ以上の艇のフィニッシュラインの到達順を判定できない場合、関係するクルーの中での結果を同着 (Dead-heats) とする。	同着が起こり同着クルーのいずれかが次のラウンドに進める場合、次のラウンドの状況により、同着クルーのいずれも次のラウンドに進める場合、同着クルーだけで再レースを行う場合、直近のラウンドの順位で次のラ	

			ウンドに進むクルーを決定する場合とがある。	
44	インドア ローイング (Indoor Rowing)	ローイングの動作を再現できるマシン（ローイングマシンまたはエルゴメーターと呼ぶ。）を用いた、陸上でのローイング。一定の距離もしくは一定の時間を漕いだとマシンが判定した時点でインドアローイングのレースは終了し、その時点でのタイムまたは距離によって、勝敗を決める。		従前「マシンローイング」の呼称が用いられてきたもの。
45	コースタル ローイング (Coastal Rowing)	沿岸部の海域等で漕ぐローイングのこと。ビーチローイング（Beach Rowing）等も含まれる。		
46	ドーピング (Doping)、 アンチ ・ドーピング (Anti-Doping)	スポーツにおいて、競技者の運動能力を向上させるために禁止された薬物を使用したり、禁止された物理的方法を採ること、およびそれらを隠ぺいする行為をドーピングと呼ぶ。ドーピングを防ぐために取り得るあらゆる方策を、アンチ・ドーピングと称する。		